

消費者庁新未来創造戦略本部 消費者教育の取組と 徳島県での波及効果

消費者庁新未来創造戦略本部成果報告会in徳島2022

国立大学法人鳴門教育大学教授

消費者庁新未来創造戦略本部客員主任研究官 坂本有芳

高校生を中心に幅広い世代で活用できます。

社会への扉

- ・自分の名前で契約できる
- ・消費生活センターを活用できる
- ・消費者の行動が社会を変えることに気付く

12のクイズで学ぶ自立した消費者

目次

消費者が主役の社会へ	1
契約について理解しよう!	3
お金について理解しよう!	7
暮らしの安全について理解しよう!	9
消費生活センターについて知ろう!	10
あなたの行動が社会を変える!	11



高校生への消費者教育 —18歳成年への対応

『社会への扉』を活用した消費者教育

- 徳島県下全高等学校での授業実施と調査
＝理解度変化の定量的な把握の意義は大きい
- ① 授業後の理解度は上がるが、定着に課題
- ② 教材の効果があるかどうかは未知数
 - 消費者トラブルを防ぐ
 - よりよい消費生活を送る
- 特別支援学校高等部の生徒への消費者教育
 - 重要性、必要性の認識が高まっている
 - 教材の存在は推進力に



「デジタル社会へのスタートライン」教材例

デジタル化に対応した 消費者教育

「消費者保護のための啓発用デジタル教材開発に向けた有識者会議」の開催＝全国をリードする取組の実施

デジタル社会の消費生活（2021年度）

- 現場のニーズを最大限にふまえる
 - 教科教育に組み込み、限られた時間数での実施を想定
- 質の高いイラストや動画

デジタル社会へのスタートライン（2020年度）

- 現場で活用しやすいトラブル事例集のまとめ方を提示
 - トラブル事例と対処方法は分けて示す
 - イラストや写真でビジュアルに
 - 教育目的で自由に加工可能

食品ロス削減—サステナブルな消費

2017

- 徳島県で計量調査の実施 ➡ 使い切れる分だけ購入する重要性

2020

- スーパーマーケットでの啓発物の効果検証 ➡ サッカー台が有効

2021

- 啓発資材の効果検証（四国で） ➡ デスクマットポスターは有効

2022

- 全国展開 有効性をふまえた意識啓発

今後

スーパーマーケット等での啓発、地域やオンラインでの講座の開催

より具体的、実践的な内容の啓発：食品の保存方法、収納のコツ、行動の振り返り

子どもの事故防止

徳島県をフィールドに大規模調査を実施(2017-18年度)

- 0歳児就寝時の窒息防止が大きな課題
 - ベビーベッドの利用は2割以下
- 溺水、転落、熱中症など、命に関わる事故の知識を増やす取組が必要
 - 職域を活用した消費者教育の可能性
- 事故防止全般への取組を
 - 重大製品事故(特にリチウムイオンバッテリーの発火による火災)
 - 高齢者の事故防止が大きな課題に

ベッドと壁の隙間
などに挟まれる



絵本を使った安全教育





非常事態になると必ず買い占めが発生するのがトイレペーパーです。予備はおよそ4週間分以上あれば、非常時の混乱はしのげるといわれています。

【これまでの非常事態で品不足になった日用品】

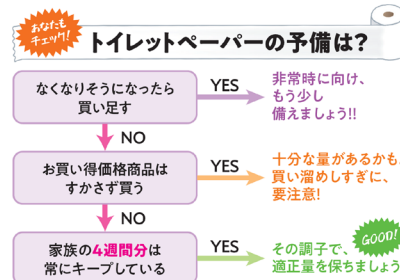
トイレペーパー

感染症拡大
キッチンペーパー
ボタン電池
体温計

震災
カセットガスボンベ
乾電池
携帯電話の予備バッテリー

上記の日用品は日常的な備蓄をお勧めします。他に備蓄が推奨される日用品に小型・大型ビニール袋(透明/黒)、ラップ、カイロなどがあります。

まだ収束が見えない新型コロナウイルス感染拡大。自然災害や感染拡大が増えると予測されているいま、非常事態に対応できるよう、備えておくことが肝心です。3回シリーズで日常の備えを考えます。



以下にあてはまる人は、多めの予備が安心です。

- ☐ 目の離せない乳幼児やお年寄りがいる。
- ☐ 仕事が忙しく、買物になかなか行けない。

備蓄品収納のコツ

トイレペーパーの予備は、トイレに置くのがベストです。備蓄量は1人4ロール以上を目安に、家族に必要な量を考えてみてください。

おれだけのプロに聞きました!

3人家族の理想は、これだけ2ロール! 高い位置の棚や多めに収納できる場所がベスト!

心配な場合、もう1パックを家のまま保管専用にするのも良いでしょう。トイレペーパーは軽いので、押入れの天袋など高い場所でもOK。

困ったときは、一人で悩まずに「消費者ホットライン」188にご相談ください!

全国共通 ☎ 188 ☎

地方公共団体が設置している身近な消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内します。

非常時の消費行動に関する研究—生活必需品の適切な備蓄

とくしま生協会員を対象とした大規模調査: 分析中

- チラシを「よく読んだ」人は、適正な備蓄に
- ただし、事前調査の得点も高い
- 意識高揚と具体的知識の両方が有効

比較対象の全国Web調査結果

- 買い占め行動は、消費者トラブルと大いに関連あり
- ネットで買い物する20-30代男性が要注意
- 普段から身の回りを片付けていると買い占め行動をとらない

今後の取組に向けて

様々な実践と調査研究

EBPM(=証拠に基づく政策立案)の
好事例を蓄積する

消費者教育・政策の状況をあらわす
定量的な指標を確立



生活に密着した
政策の進展
よりよい消費生活
の実現

- 多くの消費者の意見を反映した政策
- 開かれた議論と客観的証拠にもとづく政策